

登山道の維持・再生促進のための アウトドアイベントの開催事業

【団体名】 あそ ふいーるず らんにんぐ ASO FIELDS RUNNING実行委員会

地域の現状・課題（取組みの背景）

- 阿蘇地域には、古くから人と自然の共生により維持された草原が広がり、人々は草原の草を牛のエサや田畑の肥料にし、また屋根の材料として活用していました。そのため、外輪山上と集落を結ぶ古道「草の道」や登山道が存在していました。
- しかし、農作業の機械化とともに古道等は使われなくなり、また地域の高齢化により保全・整備が困難となったことから荒廃が進み、阿蘇ならではの美しい農業景観が損なわれていました。
- そのため、荒廃した古道の整備とイベントを企画し、地域内外に広く参加を呼び掛け、交流人口の増加、草原の維持活動への理解につなげました。

取組みの概要

- ◆登山道の整備
 - ・ボランティア39名とともに、南外輪西側にある登山道約20kmの倒木処理や道幅の復元を行いました。
- ◆アウトドアイベント「南阿蘇トレニック」の開催
 - ・整備した登山道を活用し、トレイルランとトレイン（南阿蘇鉄道）、ピクニックを組み合わせた「南阿蘇トレニック」と名付けたランニングイベントを開催しました。



登山道整備の様子

取組みの成果・現在の取組み状況

- 南阿蘇トレニックには県内外から87名が参加し、地域住民との交流拡大、阿蘇の草原への理解が深まりました。また、南阿蘇鉄道をコースに組み込んだことで、南阿蘇鉄道の復興のPRにもつながりました。
- 令和6年度も地域づくり夢チャレンジ推進事業を活用し、南外輪山の登山道を整備し、「第2回南阿蘇トレニック」を開催します。併せて、移住定住を促進するため先輩移住者によるトークイベントも同時開催予定です。
- また、当該実行委員会は令和4年度及び令和5年度夢チャレンジ推進事業で整備した登山道等を活用し、自主事業として長距離トレイルイベント「阿蘇ボルケーノトレイル」を開催しており、そのイベントの参加費の一部を草原再生募金に寄付しています。
- 今後も、古道や登山道を整備し、南阿蘇トレニック等のイベントを通して交流人口の拡大、草原の維持につなげていく予定です。



南阿蘇トレニックの様子



南阿蘇鉄道の利用



地元飲食店のふるまい